

世田谷村日記

石山修武

六月二〇日

別にこれと言って何にもない一日だった。

六月二一日

十時半新宿。光嶋君と待ち合わせ、利根町へ。十二時取手。佐藤さん宅で昼食。十四時生涯学習センターの会場へ。参加者二十名の会。少し総論的な話しをしてから、皆さんの話しをうかがう。普通の人の生活の話の中から町を作り直す素材が出てくるのが理想なのだが。十六時半迄。修了後再び佐藤宅で次の展開に関して相談。要するに「オバさんのまちづくり」だな。今回の私の参加は八月中旬となり、取手より世田谷に戻る。二〇時前京王線車中でメモを記す。

六月二二日 日曜日

朝、原口さん来宅。三階のテラスによしずを建てかける。夏らしくなった。屋上菜園に生ゴミを埋める。暑くて、とても長くは居られない。十四時、国分寺岡さん宅。アパートの再生の件。十月頃からとりかかれるようだ。

六月二三日

九時二〇分地下に降りる。利根町の百人スクールの概要考案する。久し振りの、謂わゆるまちづくりだ。今更、何を気負うても

ない。これ迄の体験を生かして、淡々とやるだけ。と書き付けながら、淡々が、いつも痛烈になってしまっものが、これ迄の常だったから、抑制気味に考えを組み立ててみよう。十三時半ダイヤモンドホテルで名桜大学村上光信先生にお目にかかる。

六月二四日

十八時大学で雑用が一段落した後、野村悦子、丹羽太一と久し振りに話す。三〇才半端の人達が何を今感じているのかを知りたかった。

六月二五日

十時李祖原の二回目のレクチャー。Gスタジオにて。午後、来客二組。伊万里の堤さんと久し振りに会えた。地方都市の事業家の困難さは痛切なものだろうと憶測する。十五時Gスタジオ。李祖原とダブルキャストで学生を指導。十九時前修了。李祖原のスピリッツが伝わると良いのだが。